

## 平成27年度アドバイザー派遣事業 研修実施レポート

鳥取県小学校教育研究会西伯郡部会健康教育部会

### 1 研修テーマ **解決志向で心を元気に ～ブリーフセラピーの活用を通して～**

学校で何か問題が起こった時、「なぜこうなったんだろう？」と、原因や問題点に注目し、解決策や有効な手立てが見いだせないことがある。そこで本部会は、問題にこだわらず、今できていることに目を向けたり、小さな解決を作る手がかりを見つけたりするなどの『みんなが元気に問題解決に向かう方法（＝ブリーフセラピー）』について、研究に取り組んできた。研究3年目となる本年度は、ブリーフセラピーを取り入れた保健室での児童支援や解決志向の校内支援会議を研修・実践していくことで、児童・保護者・担任等、問題に関わる人が元気に問題解決に向かうことを目指して取組をすすめた。

### 2 アドバイザー **江津市立跡市小学校教諭 玉木 敦 先生**

### 3 研修の概要

日 時	平成27年8月4日（火）	9：00～16：50
場 所	伯耆町岸本公民館	
日 程	9：00～ 9：30	研究の取組発表
	9：30～10：00	講演 「解決志向アプローチの強み」
	10：00～12：00	演習 「ライブ！コンサルテーション」 ～やってみよう！解決志向支援会議～
	13：00～16：50	研究指導・事例検討

### 4 研修の成果

健康教育部会では、25年度は「ブリーフセラピーの基礎」について、26年度は「利点と活用方法」について研修してきた。今年度は、解決志向ブリーフセラピーの学校現場への活用について、研究の成果を発表するとともに、コンサルテーションを取り入れた解決志向支援会議の演習を実施した。保健体育主事・養護教諭・教諭・栄養教諭等、多様な学校関係者の参加により、校内での実践に活かせる方策について、体験的に幅広く学ぶことが出来た。事後のアンケートにも「前向きな解決法を校内でも広めたい。」「新しい考え方を知ることによって気持ちが楽になった。明日からの実践に役立つものになった。」等、肯定的な感想がほとんどで研修の成果が感じられた。

玉木先生の実践事例をまじえた講義や解決志向を取り入れた演習等により、具体的な指導により、子どもに関わる者同士が元気に問題解決に向かう力が高まった。今後は、ご指導いただいたことや演習したことを基に、児童・保護者・担任・学校等がもつりソース（強み）を活かすことを意識して、問題解決に向かっていきたい。